

と考え、合併という方法を選択したいと思いません。

三 20世紀から21世紀へ

今の組織や仕組みは20世紀につくられたものであり、21世紀を生きていくうえで、いろいろな面での改革、発想の転換が必要な時期がきています。

時代の大きな流れを見据えるとともに、これまで町民の皆さんからいただいたご意見を総合的に判断して、21世紀の新しいまちを創造していく手段・方法として、松前町と同じようなまちづくりの理念をもつ自治体と協力し、より住みやすいまちをめざすのは正しい選択であると考えます。

戦後の復興の中で我々は豊かさを求めて努力をし、先人も含め先輩、同輩の汗によって、非常に豊かな恵まれた生活環境を得ました。しかし、20世紀の最後の10年は、経済の低迷、政治・行政の破綻だけでなく、人心の荒廃といつてもいいような状況でありました。

21世紀は、心の時代、人権の時代、男女共同参画社会の時代などと言われ、従来の豊かさを求めた時代とは違うという認識で新世紀を迎えました。しかし、実際にスタートして2002年になります。相変わらず政治・経済が不安定であるという状況は何ら改善されていません。このような状況下で、これから21世紀を生きていく我々として何をすべきかに思いをめぐら

したときに、お互いに考え方を同じくする自治体があるなら、その自治体と手を携え、協力して新しいまちを築いていくことが、まちづくりの方法としてより良いと考えます。

四 21世紀のまちづくりの理念

まちづくりの理念、すなわち新しい都市像は、20世紀型の都市ではなく、これから我々や、我々の子ども・孫が生きていく新しい21世紀型の都市であるべきだと思います。

今後、ますます高齢社会、長寿社会になっていきますが、その反面、子どもたちの数は減少していきます。

まず、我々が新しい都市をめざす中で考えなければならぬのは、福祉を充実することです。

同時に、子どもたちが伸び伸びと新しい世紀を生きていける、そのための教育、人づくりを新しいまちの基本に位置づけるべきであろうと思えます。

併せて、どんなに豊かな生活があっても、安全で安心できる住環境、まちでなければ人は住みたいという気持ちにはなりません。

その意味で、21世紀型の新しい都市として基本理念に、「福祉」



「教育」「安全」を掲げて新しい都市をつくっていくべきだと思います。この基本的な考え方を理解していただけるのであれば、周辺の自治体に呼びかけ、力を合わせて合併の方向を選んでいきたいと思えます。

五 気持ちをひとつにできる市町村へ

町長や議員は、住民の皆さんから付託を受け、選ばれて首長、議員になっていきます。その立場を考えると、将来に向けて地域に夢と希望を与え、住んで良かったと言われるまちづくりをしていく責任があります。

基本的な考え方にご賛同いただき、議員の皆様方と一緒に新しいまちをつくっていただけるのであれば、私は、その先頭にたって努力をして参りたいと思えます。

合併は相手のあることであり、基本的な理念に対して気持を同じくしていく市町村でない、最後まで一緒に協力してやっていくことはできないと思えます。そのため、この考え方を松前町の周辺の自治体に呼び掛け、気持ちをひとつにして新しいまちづくりをしていこうという市町村で、合併に向け具体的な行動をとって参りたいと思えます。

私は、住民の皆さんが健康で安心して住める地域を創っていくという責任を果たすべく、これからの21世紀の都市づくりに邁進していきたいと思えますので、ぜひ、ご理解とご協力をお願いいたします。